

取組内容	実施プログラム【14】子ども・子育て支援の総合的な推進
関係課	子ども支援課、保育幼稚園課、青少年育成課、教育政策課

<点検結果の総括>②就学児童に関する取組

実施プログラムの就学児童に関する取組状況について点検を行った。児童育成クラブの運営について、多様な働き方に対応した制度となるよう、利用条件や開設時間の延長など利便性の向上を求める意見が出されるとともに、これから親になる世代に、市の子育てに関する施策や支援を知らせる機会を増やしてもらいたいとの意見も出された。また、従事者に地域の高齢者や大学生等を活用して、学校や地域と連携していくとともに、地域で子育てをする環境を整えていくことが必要ではないかなどの意見があった。現在の取組状況については概ね良好とされ、今後も改善工夫を加えながら運営していく必要があるとの点検結果となった。

<委員からの意見>

- ・アンケート調査などで親のニーズを掴み、試行的に様々な取組を実施している点は評価したい。
- ・児童育成クラブについて、地域の高齢者や大学生の活用、空き教室の更なる利用を検討してもよいのではないかな。
- ・児童育成クラブについて、夕方の延長に関しては指導員の確保が難しいとの話であったが、自治会との連携、地域の高齢者や長期休業中の大学生を活用するなどして対応できないものか。これらの方々が児童育成クラブに関わることにより、世代間のつながりや地域のつながり強化にも寄与すると考える。
- ・児童育成クラブについては、できるだけ多くの人が利用したい時に利用できる態勢にしてもらいたい。
- ・児童育成クラブを活用してワークショップを開催してみてもどうか。児童だけでなく保護者や地域の高齢者等も交え、まちづくりについて考える機会を作るのも良いと思う。
- ・児童育成クラブの運営内容や利用者負担などに関して、時代の要請や多様なニーズに合わせて見直しも必要なのではないかな。
- ・区政だよりなどで子育て施策をPRすることや自治会と協力するなどして、地域で子育てをする意識を醸成していくことも重要だと考える。
- ・地域の中には行政の取組などにもっと関わりたいと考えている方もおり、そのような方々を活用し地域のつながりを強化するような仕組みを構築していただきたい。
- ・結婚や育児に関する大学生向けの出前講座を、一般企業も巻き込み広げていただきたい。
- ・高校生や大学生などこれから子育てをする若い世代が、市の子育て施策や支援について、知ることができた身近に感じるような取組を進めていただきたい。
- ・学校と連携して、放課後スポーツの活用を進めていきたい。
- ・「熊本市子ども輝き未来プラン」の中の成果指標について、達成具合や問題点などの検証も併せて進めていただきたい。